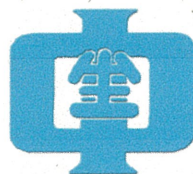


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第 5号
(令和元年 5月)

文責 西澤 庄藏

ご家庭での電子メディアの使用時間を危惧しています。

昨年度、ゲーム障害について、この学校だよりで特集記事を掲載しました。

ゲーム障害の定義

○臨床的特徴

- ・ゲームのコントロールができない
- ・他の生活上の関心事や日常の活動より、ゲームを選ぶほど、ゲームを優先する。
- ・問題が起きているにもかかわらず、ゲームを続ける、又は、より多くゲームをする。

○重症度

- ・ゲーム行動により、個人の、家族の、社会における、学業上又は職業上の機能が十分に果たせない。

○期間

上記4項目が12ヶ月以上続く場合に診断する。しかし、4症状が存在し、しかも重症である場合は、それより短くても診断が可能である。

(Defintion of gaming disorder 【ICD-11】)

ゲーム障害は、単に心や体の問題だけでなく、家庭の経済的な問題、何より学習面に大きな影響があると考えられています。

学校の成績低下や本人の怠惰な生活が続くと、家庭でも問題だと気づきます。当然、親としては、ゲームの影響が大きいと考えて、ゲーム機やスマホを取り上げてやめさせようとしします。中には「小学生のころは注意に従っていたのに中学生になると暴言をはいたりする」と聞きます。やがては家族関係が悪化してしまうことにもなりかねません。家族関係の悪化はコミュニケーションを不良にします。本人は、家族からも学校からも孤立していくため、ゲームの中に人間関係の居場所を求め、ますます依存を深めていくと考えられています。

自分自身でけじめをつけた家庭生活を送ることができれば問題がないのですが。だからこそ、繰り返しの講義や啓発が必要で、何より学校と家庭が連携することが肝心です。

【2019/12 学校だより (抜粋)】

このときはゲームを例示しましたが、ゲーム以外のスマホのアプリでも同様です。今週 05/14 (火) 市PTA連合会総会が開催され、電子メディアの使用について、家庭向けの決議がされる予定です。そのことを受けて、学校でも、別途、保護者向け文書を配付し、家庭啓発をしていく所存です。生徒一人一人がけじめをつけた家庭生活を送ることができるまで、この啓発を続けていきます。

市中総体(球技・武道)を目前に、各地で、その前哨戦が行われています。

05/25(土)・26(日)市内各地で平戸市中学校総合体育大会(球技・武道)が行われます。関係して、いわゆる「プレ大会」が多くの競技で行われています。その一つを観戦しました。

05/11(土)長崎県中学生空手道選手権大会平戸市予選が市内文化センターにて行われました。男女とも、形の部、組手の部に、それぞれ白熱した戦いがありました。

個人戦は生月中学校の生徒が上位を占めていました。また、男子組手の部のみ団体戦が行われ、見事に生月中学校チームが優勝し、県大会への出場権を獲得しました。北海道で開催される全国大会に向けて、まずは第一関門突破です。

空手道に限らず、いよいよ市中総体(球技・武道)が開催されます。保護者の皆様の熱いご声援を心待ちにしています。

